

県立夜間中学に関するアンケート調査結果等について

令和3年3月20日 小中学校課

1 設置に向けた検討経緯

- 平成30年 3月 定例教育委員会で県教育審議会夜間中学等調査研究部会の設置決定
・市町村等と連携してニーズ調査や設置への課題等の調査研究(2年間：H30・R1)
- 令和 2年 2月 夜間中学等調査研究部会から県教育委員会への報告書提出
- 令和 2年 3月 ⇒定例教育委員会で公立の夜間中学の設置を検討することを決定
- 令和 2年 7月 市町村教育委員会教育長から県立での夜間中学の設置を求める要望
⇒定例教育委員会で県立での設置を検討することを決定
- 令和 2年 9月 県立夜間中学の設置に向け専門家等による検討委員会立上げ
＜鳥取県夜間中学設置検討委員会＞
(第1回)令和2年9月4日(金)
・協議事項：設置検討にかかる課題・学校形態、新たなニーズ調査、スケジュール
・委員：学識経験者、外国人支援関係者、民間不登校支援関係者、市町村教育委員会代表、県中学校長会代表
- 令和2年12月～令和3年2月 県立夜間中学に関するアンケート調査

2 県立夜間中学に関するアンケート調査

(1) 調査期間 令和2年12月3日(木)から令和3年2月26日(金)まで

(2) 調査対象

- ・現在想定される入学対象者：①義務教育未修了者、②外国籍の者、③形式的卒業生、④不登校の学齢生徒
- ・支援者、保護者：入学対象者と関わりがあり、支援等を行っている団体(公的機関、NPO法人等)や個人及び入学対象者の保護者や後見人等

(3) 調査方法

多くの方から回答が得られるよう、関係する支援者(団体)の掘り起こし・訪問を行い、アンケート調査が入学対象者に届くようにするとともに、多くの方が回答しやすいよう、電子アンケート(県電子申請サービス)を活用し、新聞広告にQRコードを添付したり、SNSで周知を図ったりするなどの工夫を行った。

- ・支援団体等を訪問しての調査回答依頼(24施設、延べ30回訪問)
- ・アンケート配架(依頼)(246施設)
- ・SNS広告(929万回の表示回数、1.1万回のリンククリック)※広報課事業
- ・新聞広告(令和2年12月12日(土)日本海新聞)※広報課事業

【アンケート結果概要(3月17日現在)】

- 1 回答総数325名(本人113名、支援者・保護者212名)
- 2 本人用アンケート113名

区分	義務教育未修了者	外国籍の者	形式的卒業生	不登校の学齢生徒	その他	合計
通ってみたい	1	3	19	3	7	33
通ってみたいくない	1	0	8	7	11	27
分からない	0	2	22	10	19	53

3 支援者・保護者アンケート212名

- ・夜間中学のことを知らせたいと思う人がいるか⇒思いつく人がいる59件/身近にいる48件
＜内訳＞・義務教育未修了者4件・外国籍の者19件・形式的卒業生62件・不登校の学齢生徒64件※複数回答
- ・自由記述あり108名(設置を希望23名、概ね賛成71名、他機関の充実10名、設置の必要なし4名)

＜参考：県立夜間中学に関するアンケート調査自由記述(要約)＞

【本人】

- ・中学の頃の勉強をしたいと思っけていてもなかなか一人で学ぶのは敷居が高く、何から始めていいかわからないが、夜間中学ができれば抜けている勉強ができ嬉しい。何かしら劣等感も薄れるように思う。
- ・中学時代にイジメられて半年ほど不登校になり、復学したら勉強内容が全く分からなくなってしまい、勉強に楽しみを見いだす事ができなくなってしまったので利用したい。

【支援者】

- ・自分は今学生ですが、中学時代ほとんど教室外登校で過ごしたので、習うべきだった数学や英語を全くと言っていいほど習っていない。就職先や進学先によっては中学校で習うべき基礎が重要になることも多いと思うので、通えなかった大人、通えていない中学生の人たちの為にもそういった学校があればと思う。

3 県立夜間中学設置に向けたスケジュール（案）

年度	区分	取組内容
令和2年度		<ul style="list-style-type: none"> ○夜間中学にかかる市町村との意見交換 ○県立夜間中学設置を求める要望書受領 (鳥取県都市教育長会及び鳥取県町村教育長会) ○鳥取県夜間中学設置検討委員会設置及び第1回検討委員会開催 (学校形態(案)、スケジュール等の検討) ○ニーズ調査実施 ○夜間中学広報活動(オンライン活用)※準備中
令和3年度	【STEP1】 夜間中学の概要決定 及びニーズ把握等	<ul style="list-style-type: none"> ○第2回検討委員会(ニーズ調査を踏まえた学校形態・設置場所・開設時期【案】について等) ○総合教育会議 ○夜間中学シンポジウム(参集型) ○第3回検討委員会(ニーズ調査を踏まえた学校形態・設置場所・開設時期について等) ⇒【教育委員会】県立夜間中学にかかる教育委員会案の決定 ○令和4年度予算検討・要求 ⇒【県議会】2月議会・当初予算
令和4年度	【STEP2】 夜間中学の詳細決定 及び広報活動等	<ul style="list-style-type: none"> ○夜間中学開設準備室(仮称)の設置 ○教育内容等にかかる検討 <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程 ・就学助成制度適用 ・生徒数、教職員数等 ・(遠隔教育特例校申請) ○関係条例・規則等の整備 ○県立夜間中学に係る広報、体験会の開催等 <ul style="list-style-type: none"> ・市町村、住民への広報等 ○施設改修等
令和5年度	【STEP3】 開校に向けた入学者 受入れ及び授業実施 にかかる準備	<ul style="list-style-type: none"> ○学級編制、教育課程編成等決定 ○教員研修等の実施 ○入学希望者募集開始 <ul style="list-style-type: none"> ・入学希望者への説明会の開催 ・入学希望者への面接実施・選考 ○施設設備整備・改修
令和6年度	開校	

※設置検討にあたっての論点

これまで夜間中学設置の検討にあたっては不登校の学齢生徒を対象として検討を行っていたが、まずは他県の多くの事例と同様に形式的卒業者や外国籍の方など、学齢期を経過した者であって、学校における就学の機会が提供されなかったもののうち、その機会の提供を希望する者を対象として検討を行う。

不登校の学齢生徒については、拙速に夜間中学の対象者とするのではなく、まずは既存の不登校対策の検証や対策の充実について、義務教育を一義的に所管する市町村教育委員会やフリースクール等の関係機関等と総合的な観点で議論を行い、支援策を検討することとする。

⇒よって、このたびの県立夜間中学設置にかかる検討からは、ひとまず不登校の学齢生徒を対象から外すこととするが、不登校対策の検討において、対策の1つとして、県立の不登校特例校の必要性が高いということとなれば、改めて、検討を行うこととしたい。

<参考：県立夜間中学に関するアンケート調査自由記述（要約）>

【支援者】

- ・不登校の子どもは、外に出るエネルギーや人と話をすることなどが苦手なケースがあり、夜間中学に通うことが難しいのではないかなと思う。個別の支援や通信制教育を充実させた方がよいのではないかなと思う。
- ・たとえ県に一ヶ所の夜間中学が出来たとしても、交通の便などからも通うことは現実的ではない気がする。学びの場の選択肢の一つとして鳥取県にも夜間中学が設置されることについて反対ではないが、不登校の子どもたちの支援には別の居場所の充実が急務ではないか。「全国の一歩先行く子育て支援」を進められている鳥取県で、更なる早急な施策の実現を願っている。
- ・不登校により、学習機会が少なかった子ども達を指導しているが、見知らぬ人が居る所に通う事が難しい又は苦痛に感じて辞めていく子ども達も多くいるので、オンライン授業での県立の夜間中学があるとよいと思う。

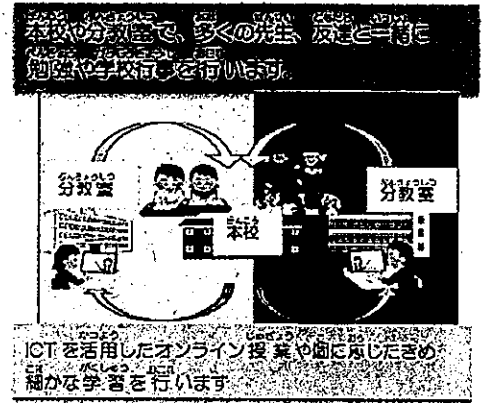
県立夜間中学にかかる設置案について

1 学校形態について

【県立夜間中学のあり方(考え方)について】

○県立夜間中学に関するアンケート調査において、形式的卒業者等から一定程度のニーズがあることが判明できたことから、まずは既存施設を活用するなどコンパクトな形の設置を目指して取り組みを進めることとし、開設によりニーズ、入学意向が高まることがあれば、それに応じた対応を行う。

○県立夜間中学として、県内すべての中学校教育を求める方に学びの保障を行うため、本校の他、分教室(サテライト)を設け、またオンライン授業などを組み込みことで、ICTを積極的に活用した新たな学びに取り組む。



(県立夜間中学イメージ※アンケート調査資料より)

区分	内容
開設時期	令和6年4月
対象者	○義務教育未修了者、○外国籍の者、○形式的卒業者 ※不登校の学齢生徒の取扱いは2ページ目とおおり。
教職員配置(定数)	・3学級の場合(分教室を含む): 校長、教頭、教諭6名、養護教諭1、事務職員1 ・4学級の場合(分教室を含む): 校長、教頭、教諭7名、養護教諭1、事務職員1 ・5学級の場合(分教室を含む): 校長、教頭、教諭8名、養護教諭1、事務職員1 ※不足分は非常勤で対応
設置場所	○利便性のよい市部を中心に検討 【設置形態】 既存施設の空き教室等を活用し、必要に応じて改修を行うとともに、必要に応じ本校のほか簡易の形で分教室設置を検討するなど、コンパクトな形の設置を目指す。

2 経費について

区分	内容
人件費	教職員給与等
学校運営費	光熱水費、消耗品費、雑費等
大規模改修等	教室仕様改修(壁撤去、パーテーション工事等)、トイレ改修、空調設置等
設備費	机、椅子、パソコン等

(国庫について)

- ・県立夜間中学にかかる人件費、学校運営費などの経費については、市町村立の中学校と同様に、国庫負担、交付税措置の対象となる。
- ・公立学校施設整備に要する経費の他、スクールカウンセラー等活用事業や帰国・外国人児童生徒等支援事業など各種国庫事業についても同様。

【夜間中学新設準備・運営補助事業(令和8年度終了) ※国1/3】

区分	補助金額(上限)	対象経費
開設準備を行う2年間	年4,000千円	協議会設置、コーディネーター雇用、ニーズ調査、広報活動などの設置準備に係る経費等
開設後3年間	年2,500千円	円滑な運営にかかる経費(経済的負担を考慮した効果的な学校行事等にかかる費用、専門スタッフ(看護師や通訳など)を活用した教育活動にかかる費用等)

鳥取県立夜間中学等に関するアンケート調査について<調査結果のポイント>

令和3年3月17日集計時点
小中学校課

1 調査概要

(1) 調査の対象及び内容

鳥取県内在住の、①義務教育未修了者②外国籍の者③形式的卒業生④不登校の学齢生徒、上記①から④に対する支援者・保護者等を対象に、①本人用、②支援者・保護者用の2種類のアンケートを用意し、調査を実施（調査期間：令和2年12月1日から令和3年3月5日まで）。

【本人用アンケート】

日本語、英語、中国語（簡体字）、中国語（繁体字）、韓国語、ベトナム語の6種類の言語で、年齢・国籍・居住地等の属性を尋ねた上で、県立夜間中学が設置された場合の通学希望や、通学するとした場合の県立夜間中学の形態、通学可能な時間帯等を尋ねる内容のアンケートを作成。鳥取県電子申請サービスと紙媒体による2通りで実施。

【支援者・保護者用アンケート】

周りに夜間中学のことを知らせたい人がいるかどうか等を尋ねる内容の支援者・保護者用アンケートを作成。とっとり電子申請サービスと紙媒体による2通りで実施。

(2) 周知方法

- ・鳥取県教育委員会ホームページの県立夜間中学のページにとっとり電子申請サービスへのリンクを掲載し、回答を求めた。
- ・新聞への広告掲載、LINEニュースやYAHOOニュースへの広告掲載、鳥取県教育委員会のTwitterによるアンケートの告知により回答を求めた。
- ・県内各地の関係機関（別紙1参照）を訪問し、アンケートへの協力を依頼した。
- ・県内各地の関係機関（別紙2参照）に依頼文を発出し、アンケートチラシの配架等を依頼した。

2 回収件数

【本人用アンケート】

113件（とっとり電子申請サービスによる回答：73件、紙媒体による回答：40件）

<回答者の属性>

- ① 義務教育未修了者2件、②外国籍の者5件、③形式的卒業生50件、④不登校の学齢生徒20件、①から④に該当しない者36件

【支援者・保護者用アンケート】

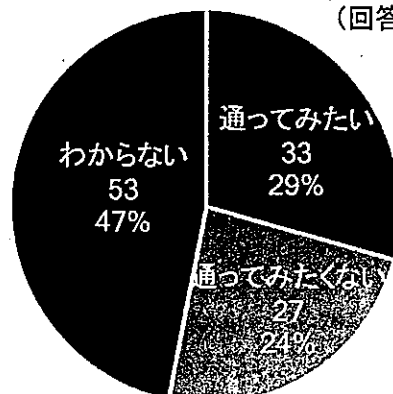
212件（とっとり電子申請サービスによる回答：99件、紙媒体による回答：113件）

3 アンケート結果の概要

(1) 本人用調査

本人用調査の回答113件のうち、33件（29%）が「夜間中学があった場合、通ってみたい」という回答。

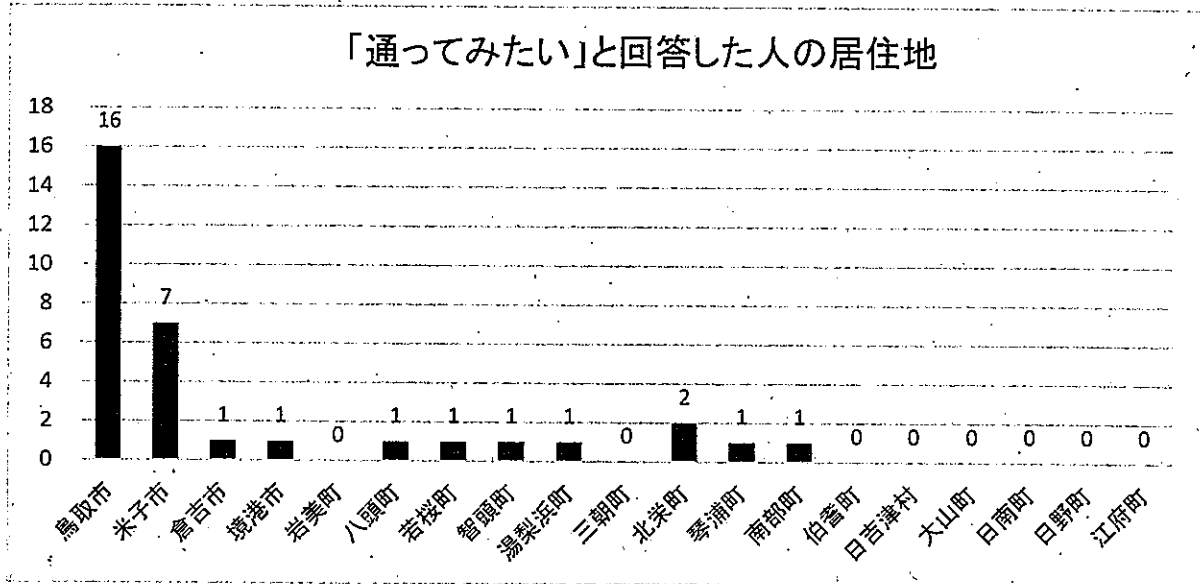
夜間中学があった場合、あなたは夜間中学に通ってみたいと思いますか
(回答総数113)



<「通ってみたい」と回答した人の属性>

- ・義務教育未修了者1名（鳥取市）
- ・外国籍の者3名（鳥取市1、米子市1、境港市1）
- ・形式的卒業生19名（鳥取市9、米子市4、倉吉市1、八頭町1、智頭町1、北栄町1、琴浦町1、南部町1）
- ・不登校の学齢生徒3名（鳥取市1、若桜町1、湯梨浜町1）
- ・選択肢にあてはまるものがない者7名（鳥取市4、米子市2、北栄町1）

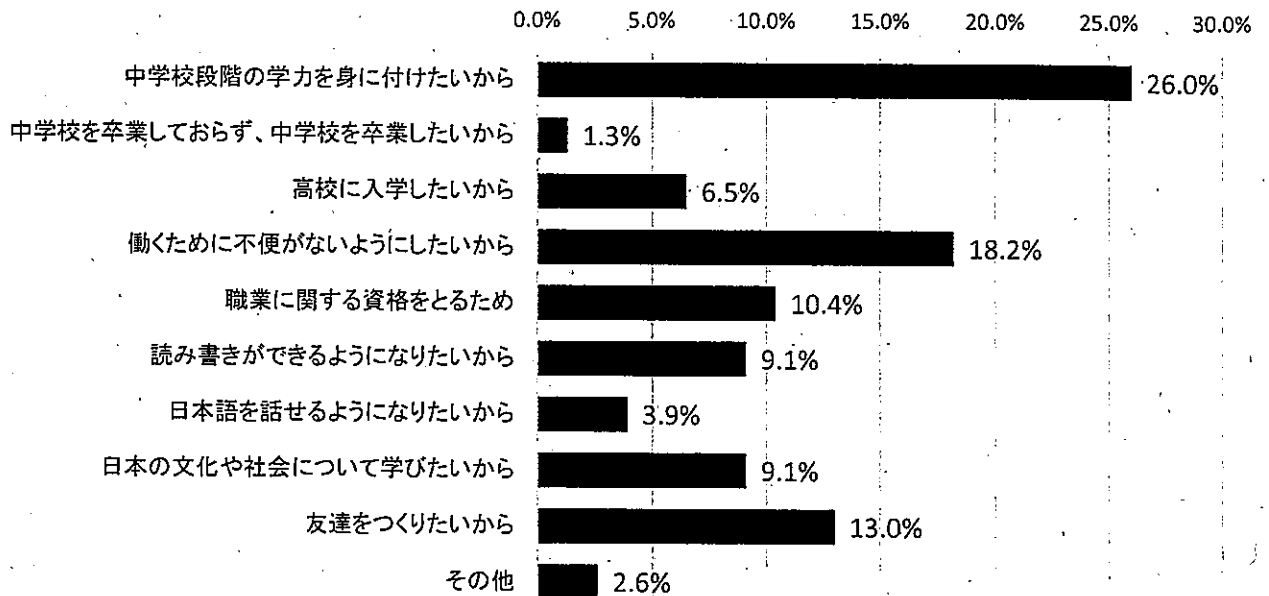
<「通ってみたい」と回答した人の居住地>



○夜間中学に通いたい理由

「夜間中学があった場合、通ってみたい」と答えた人の理由としては、「中学校段階の学力を身に付けたいから」が26.0%で最も高く、次いで「働くために不便がないようにしたいから（18.2%）」、「友達をつくりたいから（13.0%）」となっている。

夜間中学に通いたい理由は何ですか。 ※複数回答可

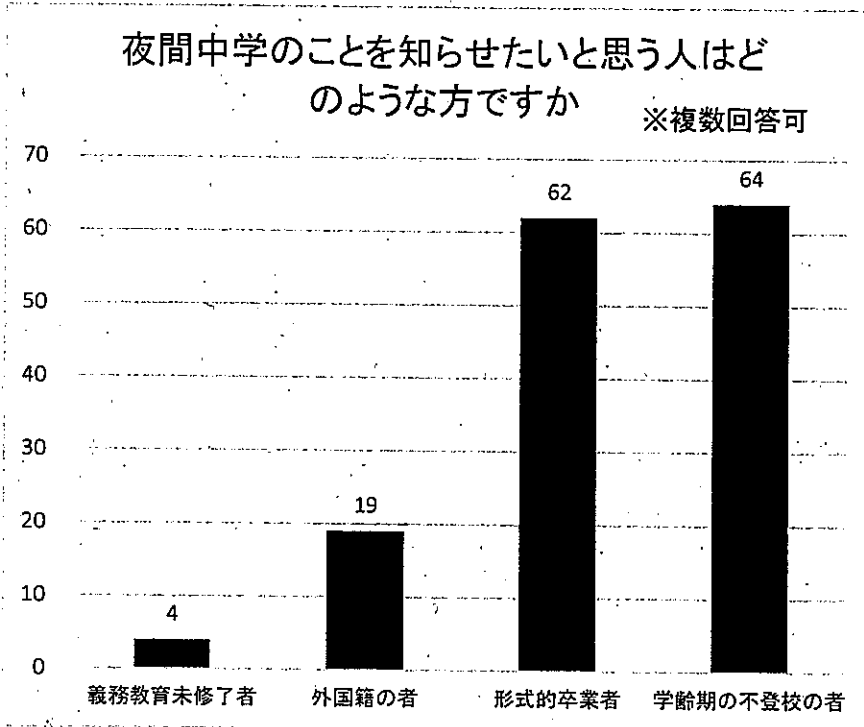


(2) 支援者用アンケート

支援者用調査の回答212件のうち、「夜間中学のことを知らせたいと思う人がいるか」という質問に対し、「思いつく人がいる／場所(団体、職場など)がある」という回答が59件、「身近にいる」という回答が48件寄せられた。

夜間中学のことを知らせたいのはどのような者かについては、①義務教育未修了者4件、②外国籍の者19件、③形式的卒業生62件、④不登校の学齢生徒64件となっている。

夜間中学のことを知らせたい者の年代は10代が65件、20代が19件、30代が14件、40代が6件、50代が4件、60代以上が7件となっている。



県立夜間中学に関するアンケート自由記述（一部抜粋）

【本人用アンケート】通ってみたいと回答した16名中の4名

鳥取市	60代女性	形式卒業 (自宅にいる)	通ってみたい	学校が出来るのであれば入りたい年齢が高くなるが鳥取では開校されないので諦めていました。 速い開校を希望しますコンプレックスの克服
米子市	30代男性	形式卒業 (高校中退)	通ってみたい	今現在は社会に出て仕事をさせていたのですが、どこかで自分が中学の時に不登校で中学3年間の勉強ができなかつた思いがあり夜間中学があるとすごく通いたいです
米子市	30代男性	形式卒業 (高卒・自宅療養中)	通ってみたい	中学の頃の勉強をしたかと思っただけでいともなかなかなか一人で一から学ぶのは敷居が高く何から始めていいか分かりませんが、夜間中学ができれば抜けている勉強ができ嬉しいです。どこか何かしら感じる劣等感も薄れるように思います。
米子市	60代男性	中学卒業 (高校中退・会社経営)	通ってみたい	朝起きて、子供は学校に行くことが当たり前なんですが、性質的に朝起きれない、嫌いな先生がいる、話したくない同級生がいる等、普通に中学校生活ができる子供もいれば、家庭的にも(?)本能的にも学校という場所が遠いところになってしまった子供達を救済できるのは家庭でしょうか?友人ででしょうか?先生でしょうか?弱った子供に強くなりなさいと言っても、益々心を閉ざすだけでは、、、。
米子市	30代男性	形式卒業 (日常的にはたらいいてい る)	通ってみたい	高等学校の定時制・通信制だけでなく、中学校でも同じ様に年齢関係なく学びたい意欲がある方に学びの場を設けるのはとても良い事だと思う。
米子市	30代男性	形式卒業 (日常的にはたらいいてい る)	通ってみたい	中学時代にイジメられて半年ほど不登校になり、復学したら勉強内容が全く分からなくなってしまう、勉強に楽しみを見いだす事ができなくなってしまったので利用したい。受けられる時間をもっと自由なタイミングにしてくれたら尚嬉しい。

【支援者・保護者用アンケート】

湯梨浜町	20代女性	義務教育未修了者の家族	<p>県立夜間中学の設立に賛成します。両祖母は家庭の事情で中学への就学を諦めました。自分に学が無 いという自認は根深いコンプレックスだったようで、その自己認識が祖母たちを家族への自己犠牲に 走らせたように感じます。戦前から戦後の環境のせいで、もしくははじめなどの理由で中学校に入 学・卒業できなかつたという行政の支援の手からこぼれてしまった人達への新しい希望となるはずで す。強く賛同します。</p>
鳥取市	20代女性	形式卒業の関係者	<p>自分は今学生ですが、中学時代ほとんど教室外登校で過ごしました。そのため、その頃習うべきだっ た数学や英語を全くと言っていいほど習っていません。現在通っている学校では数学も英語もあまり 重要では無いので自分はどうにかやれています。就職先や進学先によっては中学校で習うべき基礎 が重要になることも多いかと思えます。なので、通えなかつた大人、通えていない中学生の人たちの 為にもそういった学校があればと思います。</p>
米子市	50代女性	学齢期の不登校の保護者	<p>現在、息子が中学に通えていません。原因は人間関係ですが本人も登校して勉強したい気持ちはある ようですが、不登校が続くにつれ行きにくい状態になってきているようです。個人的には夜間中学に 通ってほしいのですが今は余り他の中学生にも会いたく無いようなのでリモート授業を受講できれば ありがたいと思います。他県には夜間中学があるようなので、是非とも鳥取県にも設置していただ けたらと思います。</p>
倉吉市	60代女性	倉吉はばたき人権文化センター	<p>夜間中学は、学びなおしの機会として必要だと思っていますが、こちらが必要で通学して学んでほし いと思っても、当の本人が意欲がない限り通学する気にならないこともある。また、夜間中学がどの ようなものか知らない人の方がほとんどであるため、積極的に自らが学ぼうとするとするようになるよう支 援が必要です。不登校の生徒たちへ、家庭へぜひ支援の手を届けたい。夜間中学に通学する生徒が少 なくとも設置されることが第一歩だと思う。</p>
境港市	50代女性	公民館	<p>年齢の高い方なのに、字が書けない人、読めない人がおられます。そういう人が字を習える場がある ばいいと思います。</p>
米子市	30代女性	学齢期の不登校の保護者	<p>個々にあった学習は今の時代、とても大切だと思えました。義務教育という場所において必ずしも決 められた人間関係などに縛られて悩むなら、夜間という形で、自分に合った学び方が出来るのはとて も素晴らしい事だと思えます。是非実現して頂けたらと思います。</p>

八頭町	30代男性	児童相談所	<p>学齢期の子どもたちが様々な理由で学校に行くことができず自宅で過ごすことができません。日中に遊び回っている姿を何件も目にしてきました。通常の学校と違う枠組みで子どもたち合った学びが可能と思われる夜間中学が早くできることを期待しています。</p>
鳥取市	20代女性	福祉関係者	<p>様々な理由で中学校に通えなかった方に教育を受ける環境が無償で設けられるのは有難いことであると思う。3年間通った後の就職、進学等のサポートが重要であると思う。</p>
米子市	20代女性	個別指導塾講師	<p>小学校・中学校での不登校により、学習機会が少なかった子ども達を個別指導塾にて担当している者です。学校からのフォローを受けていても、進路や学習面での相談先として個別指導塾が受け皿のひとつになっていいると感じます。継続して通塾出来る子ども達は、個別指導塾でのサポートが出来ますが、見知らぬ人が居る所に通う事が難しい又は苦痛に感じて退塾していく子ども達も多くいます。オンライン授業での県立の夜間中学があるとよいと思います。</p>
米子市	40代女性	形式的卒業者、学齢期の不登校生徒の保護者	<p>例えば県に一ヶ所の夜間中学が出来たとしても、交通の便などからも通えることは現実的ではない気がします。学びの場の選択肢の一つとして鳥取県にも夜間中学が設置されることについて反対ではありませんが、不登校の子どもたちの支援には別の居場所の充実が急務ではないでしょうか。「全国の一歩先行く子育て支援」を進められている鳥取県で、更なる早急な施策の実現を願っています。よろしく願います。</p>
鳥取市	60代以上女性	学習支援関係者	<p>自分がかかわっている不登校の子どもは、外に出るエネルギーや人と話をすることなどできないケースが多く、夜間中学に通えないのではないかと思います。個別の支援や通信制教育を充実させた方がよいのではないかと思います。</p>

